

農地・水・農村環境保全活動 支援実験事業の取り組み状況

農林水産省では、平成18年度に農地・水・環境保全向上対策の本格的な着手に先駆けて、全国600余りの地域で実験的な取り組みに対する助成を行っています。

この事業は、地域住民や自治会などの身近な人や水土里ネット、JAなどの団体を含め、農地や水などの資源保全に加えて、施設を長持ちさせるようなきめ細やかな手入れや農村の自然や景観などを守る地域活動を行い、農村地域における新しいコミュニティづくりや農業・農村に対する国民の理解を深めていくことを目的としています。

取り組む活動は、

①基礎部分 農地、農業施設の点検並びに共同作業により草刈り、泥上げを行う活動

②誘導部分
農地水向上活動 施設等の状況を把握、記録し、必要と思われる箇所を補修・補強し、施設を長持ちさせる活動

農村環境向上活動 ... 農村における環境資源を大きく分類し、1)生態系保全、2)水質保全、3)景観保全・生活環境保全、4)水田貯留機能増進・地下水かん養、5)資源循環の5つに分け、地域の特色を活かし、今後活動組織で取り組むことのできる活動

の3つの部分から成り立っています。

三重県においても、農地・農業用水等の資源や農村環境の保全とその質の向上を目指して7地区が取り組んでおり、そのなかの3地区について地域の特色や創意工夫を活かし、農村環境向上活動の取り組んでいる状況を紹介します。

三和集落資源エコ隊(員弁郡東員町)



景観保全活動(花壇づくり)

長深地域の農地・農業施設等を適正に管理するとともに、これらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する効果の高い取り組みを農業者、長深自治会、水土里ネットタケル

(員弁川用水第二土地改良区)及び非農業者等で連携を密にして集落機能の活性化を目指している。

農村環境向上活動では、地区内の県道沿いの空き缶拾い清掃を実施したり、農道沿いにフラワーポットを設置するなど景観保全に取り組んでいる。さらにEM菌、竹炭を利用して排水路の水質保全を行い、希少動物であるめだかの再生に取り組み、三和小学校、町と連携し、水土里ネットタケルが中心となり、水田を活用した「めだか祭り」を開催している。

多気町勢和地域資源保全活用協議会(多気郡多気町)勢和地域の農地・農業施設等を適正に管理するとともに、これらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する効果

の高い取り組みを農業者、自治会、水土里ネット立梅用水、水土里ネット丹生、JA、あじさいいっぱい運動協議会等13団体と連携を密にして集落機能の活性化を目指し、さらに地域活動とのネットワーク化を図り、地域資源を活用している。



あじさいの剪定作業

農村環境向上活動では、農地や農業用水沿い等にあじさい植栽を維持継続し、地域資源の保全と美しい農村景観づくり、生態系保全のための環境水利、都市と農村の交流促進及び地産地消の実践による地域農業の振興など多様な主体の参画のもとに連携を図り、資源保全向上活動の推進と資源空間を活用した都市との交流を深め、都市住民にも地域資源を大いに活用してもらい、更なる地域資源の保全と「心豊かな里づくり」を目指している。

むらおこし・さた(多気郡明和町)

佐田地域は、県営ほ場整備事業上御糸地区で整備された農地・農業施設等を適正に管理するとともに、用水源である祓川を中心に農業者、明和土地改良区、榑田川祓川沿岸土地改良区、佐田自治会、祓川環境美化推進協議会等、非農業者と連携し、地域資源の有効活用を行い、保全活動に取り組んでいる。

農村環境向上活動では、地元の上御糸小学校、祓川環境美化推進協議会等と連携を図り、祓川に生息している希少生物の監視及び学習会による生態系保全や水田からの濁水管理による水質保全に取り組んでいる。



むらおこし・さたの皆さん